



花火で彩った たなべの夏の風物詩

7月24日(土)・25日(日)、闘雞神社の例大祭「田辺祭」が開催されました。24日の朝、笠鉦が江川町と本町に集り闘雞神社からの神輿を迎えて、神輿渡御に随行し各町を巡行しました。夜には旧会津橋で曳き揃えられ、今年は田辺祭 460 回など記念の年として打ち上げられた花火とともに素晴らしい情景が繰り広げられました。

25日の本祭では、早朝の暁の祭典で舞姫が舞い、午後からは七度半の使い、お宮入り、住矢の走り、最後は流鏝馬が行われました。



8月7日(日)、JR 紀伊田辺駅で、駅舎の建替え工事が完了したことを記念した式典が開催されました。駅構内には、田辺観光協会などの団体から寄贈された観光案内パネルが設置されています。



8月11日(日)、大塔水辺の楽校等で『大塔地球元気村』が開催されました。鮎つかみどりなど体験教室のほか、よさこい踊り、花火大会が行われ、多くの人でにぎわいました。



8月8日(日)、市街地の商店街でヤーヤーまつりが開催されました。巨大わなげや抽選会、よさこいソーラン、大道芸など商店街ごとに趣向を凝らしたイベントがたくさん行われました。

笑顔が彩るまちのたより
みんなの彩時記

迫力ある大蛇 清姫伝説がよみがえる

7月28日(日)、中辺路町真砂の河川敷で清姫まつりが開催されました。特設ステージでは、くりすがわ保育園とちかの保育園の園児による清姫サンバから始まり、田辺大蔵さんの歌謡ショーや清姫太鼓などが行われました。

清姫の化身とされる 20m の大蛇が火を吹きながら会場全体を練るときには、辺り一面に今日一番の歓声が。子供たちは「キャー」「ワー」と少し怖がりながらも笑顔で駆け回っていました。最後に花火を打ち上げ、観客を魅了しました。



8月10日(土)・11日(日)、市消防本部で I Day インターンシップが行われました。両日合わせて約 30 名が参加し、施設や消防車の見学、ロープ登はんや放水などの体験をしました。



7月28日(日)、熊野川支流の蟬ヶ谷でネイチャー・フォトグラファーの内山りゅうさんの親子川ガキ教室が開催されました。子供たちは網を片手に川に潜む生き物を探しました。

